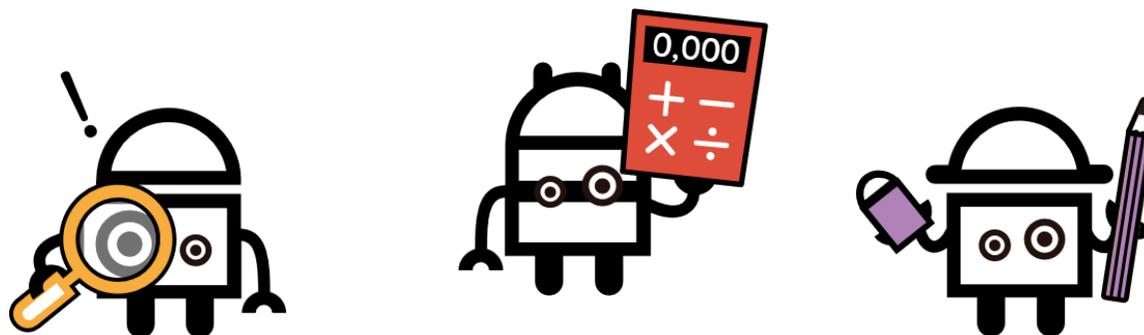


RPAによる働き方改革の実現



藤カマンダーソフト株式会社

目次

- RPA紹介資料
 - ・ RPAとは？
 - ・ RPAを自社で活用するためのポイント
 - ・ RPAデモ
 - ・ RPA導入事例
 - ・ RPA導入ステップとポイント
 - ・ ライセンスと各種サービスメニュー

はじめに
RPAとは？

はじめに

RPA（Robotic Process Automation）とは

RPAとは、**ルールエンジン**や**機械学習**、**AI**等の技術を活用した**ホワイトカラー業務自動化**の取り組みであり、**仮想的労働者（Digital Labor）**とも呼ばれる。

RPAの市場規模は、2020年に、\$5billion（5,000億）円に達するとの試算あり。

ブルーカラー（工場）



産業ロボットが人間に代わり
製品を組み立てる光景は
もはやあたりまえ

ホワイトカラー（事務所）



A I を活用したRPAビジネスが沸騰、
業務ロボットが人間に代わりオペレーシ
ョンする時代に。

空前のRPAブーム

最近、新聞・雑誌・Web等にて「RPA（Robotic Process Automation）」が取り上げられるなど、高い注目を集めているキーワード。

日経コンピュータ

特集「さらばPC雑務」（2017/5/11号）

『さらばPC雑務

透明ロボット「**RPA**」に全部お任せ』

日経情報ストラテジー

特集「2020年に勝てるチームを作る」(2016/12)

『日本生命、オリックス、三菱東京UFJ銀行

オフィスワークも**ロボット**にお任せ』

日経ビジネス

特集「おのれ!間接部門」(2016/12/5)

・・・最近、間接部門のスリム化に役立つ
技術として**RPA**が注目されている・・・

ITpro : 新ITキーワード2017

- AIチップ
- IDDoS攻撃
- **RPA**
- Pay Wars
- オール仮想化
- バイモーダルITエンジニア
- オンプレファースト
- ゼロレーティングIoT
- アイドルストップアーキテクチャ
- イノベ案件

出典：日経コンピュータ、日経情報ストラテジー、日経ビジネス

はじめに

ブームの背景：日本国内の環境変化

先進国の中でも先行して高齢化が進む日本において、将来に向けた企業競争力の維持、生産性の向上のためには、新たなテクノロジーの活用が求められており、RPAに対する期待は非常に高い。

日本の労働環境の変化

- ・少子高齢化に伴う労働人口の減少
- ・高齢化にともなう労働生産性の低下
- ・働き方改革、長時間労働の撲滅



総務省統計局「H24日本統計年報」
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」より

新たな生産性向上ソリューションの登場

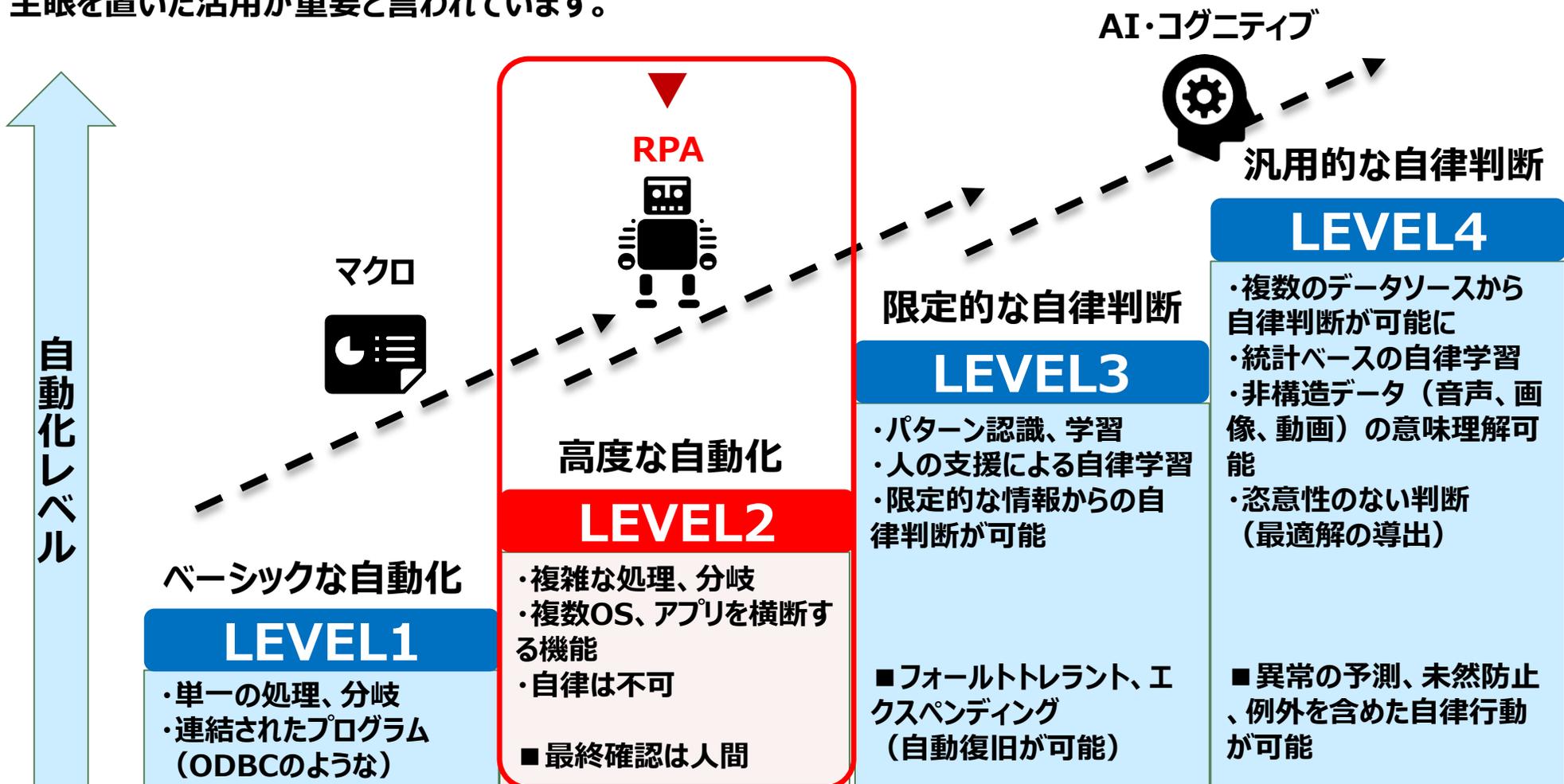
- ・AIやChatBot
- ・RPA(Robotic Process Automation)



出典：総務省統計局「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」出典：Occams Business Research Global IT Robotic Automation Market 2015-2021

将来のAI活用を見据えてのRPA導入

AI技術は4つのLEVELに分類され、現時点のRPAソリューションは概ねLEVEL2段階にある。EXCELマクロなどの延長上として**一部作業の代替**に過ぎないものの、来るべきAI活用の前段階として業務データの取得・蓄積に主眼を置いた活用が重要とされています。



Kinetic Consulting Services社資料を参考に弊社見解を加筆

RPA導入事例

すでに大手金融機関では、国内外問わずRPAを導入し始めており一定の効果が確認されています。また、海外ではローンや振り込みといったコア業務への適用もみられています。

	金融機関	適用業務	効果（副次効果を含む）
海外※	オーストラリア・ ニュージーランド銀行	・振込業務の一部 （時間を要するエラー対応）	・要員削減（40人→2人） ・余剰人員の再配置
	バークレイズ銀行	・売掛金対応 ・不正口座の解約 ・ローン申請	・FTEの削減（120人分） ・貸倒引当金の削減
国内	三菱東京UFJ銀行	・1時間おきに社内システムにアクセスして データをチェックしエクセルにコピーする作業等 ・これ以外も含めて約20業務へ適用	・稼働削減（8,000時間分/年）
	住信SBIネット銀行	・新商品・新サービス導入に伴い、 複数の業務端末を駆使している業務	・一部の作業時間短縮（1/10）
	オリックスグループ	・営業事務処理 （リース業務に関する与信事務手続等）	・ピーク時の処理遅延防止
	日本生命保険	・請求書データのシステム入力 （銀行窓販部門）	・作業時間短縮（数分/件→約20秒/件）

（※）上記2社以外で、RPA導入に積極的な海外金融機関

MasterCard, Visa, Lloyds Banking Group, Deutsche Bank, Merrill Lynch Wealth Management

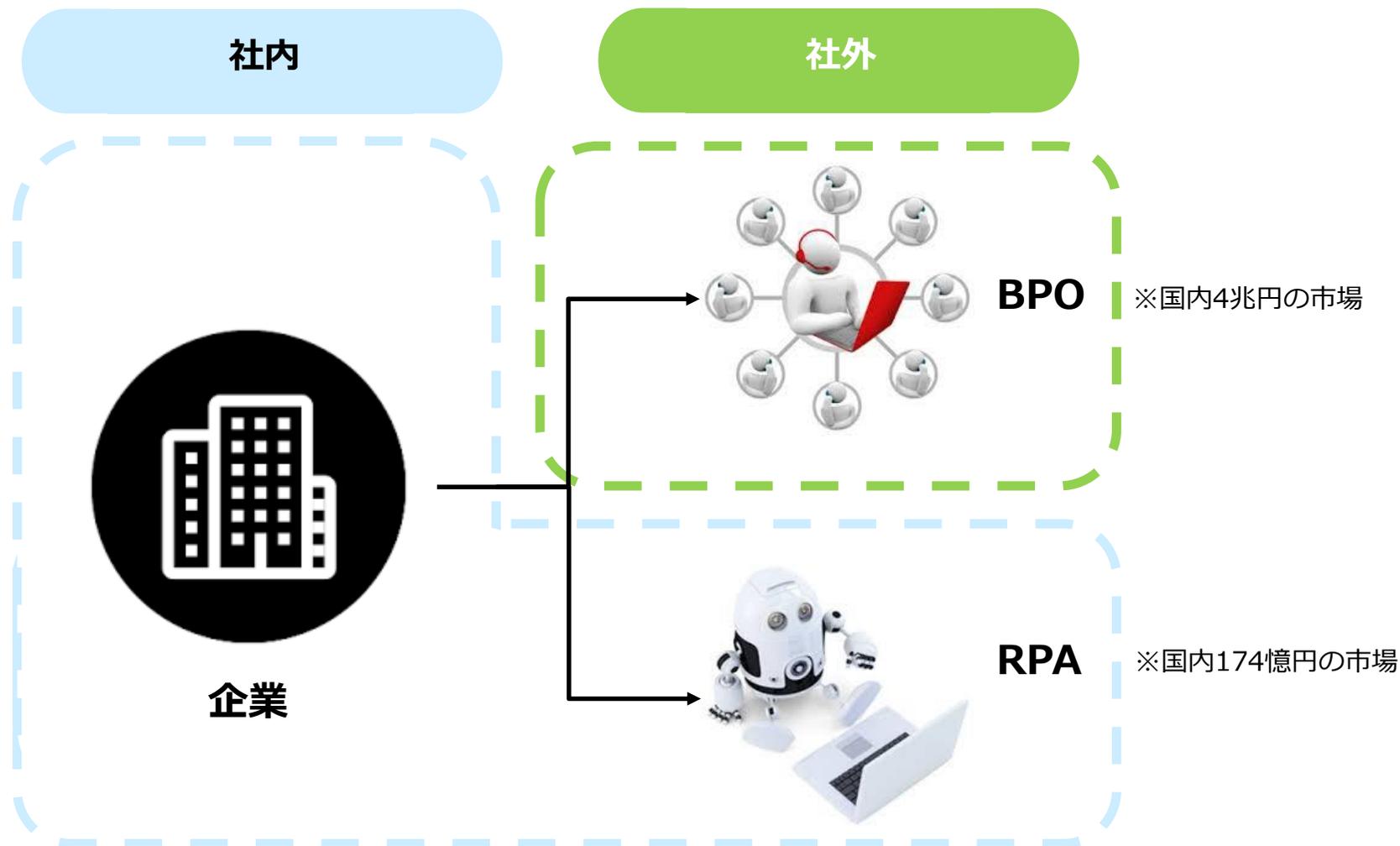
出典: infosys社HP、日経情報ストラテジー（2016年12月号）を元に作成

RPAを自社で活用するためのポイント

RPAとBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）

これまで非コア業務はコスト削減を目的にBPO（Business Process Outsourcing）による外注化しか選択肢がなかった。

RPAの登場により、ボリュームが少ない業務でも内製化でのコスト削減が可能になった。



RPAと親和性の高い業務とは

RPAは事務処理業務全般と親和性が高く、業務の効率化・コスト削減に大きく貢献できるソリューションです。

RPAは事務処理業務と 親和性が高い

- ロボット（RPA）化に向く業務
 - ・ 大量処理
 - ・ 反復的な作業
 - ・ 予測可能な業務（パターン認識含む）
 - ・ ボリュームの季節変動がある業務やピークボリュームが読みにくい作業

事務処理業務全般に適用可能

コストは大幅に削減

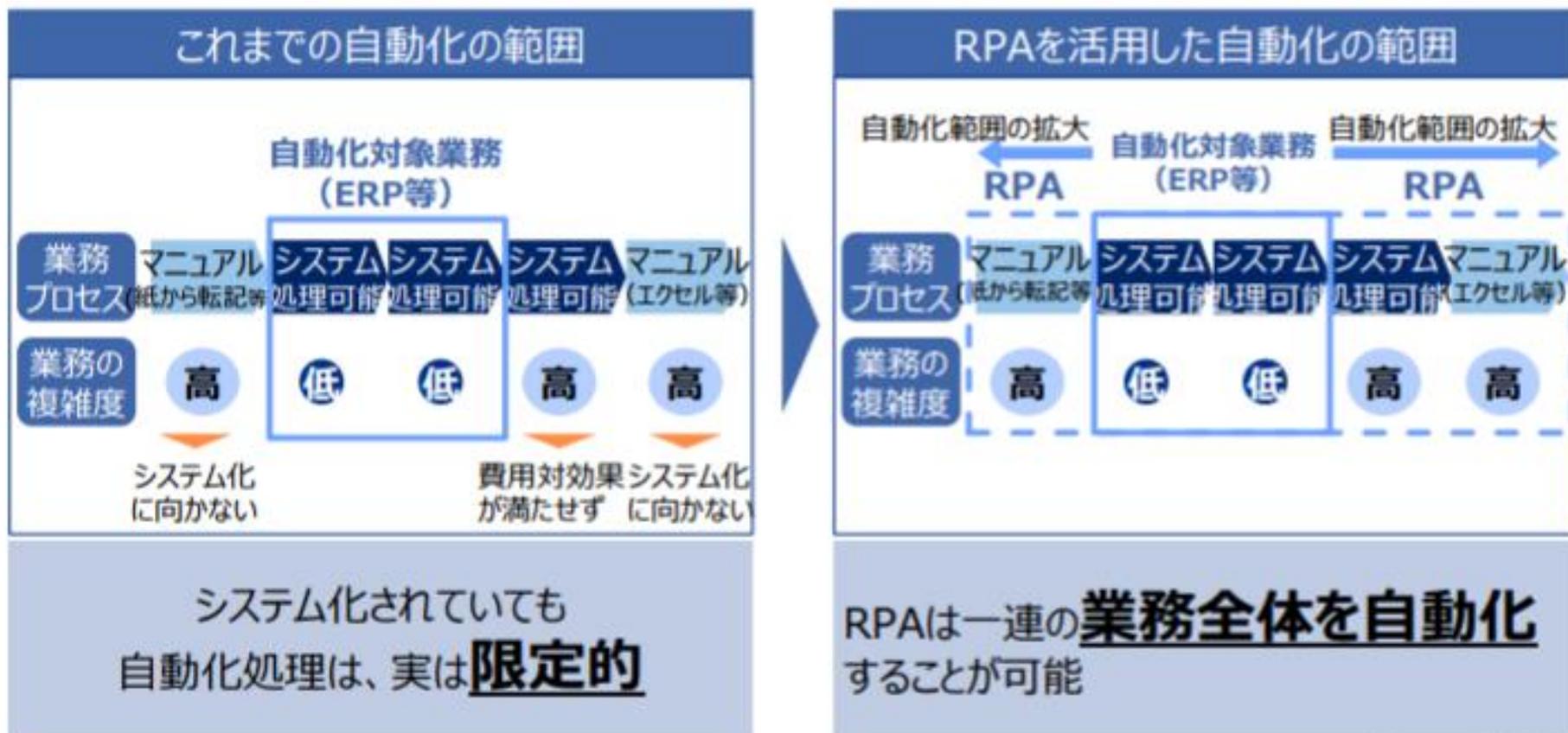
- 人件費格差や標準化をもとにしたコスト削減は **15~30%**が限界
- RPAを活用したコスト削減は **40~75%**可能に

なぜコスト削減できるのか？

- 👍 24時間365日稼働 ⇒ 休日・夜間、長時間人は働けない
- 👍 入力・転記ミスが低減 ⇒ ミス「0」、人はミスをする
- 👍 スピード・生産性UP ⇒ 3~5倍速い、休憩無し
- 👍 コスト（工数）の削減 ⇒ 人にしか出来ないコア業務集中
- 👍 教育コスト不要 ⇒ 人材を採用した場合は教育必須
- 👍 永年勤続 ⇒ 退職しない

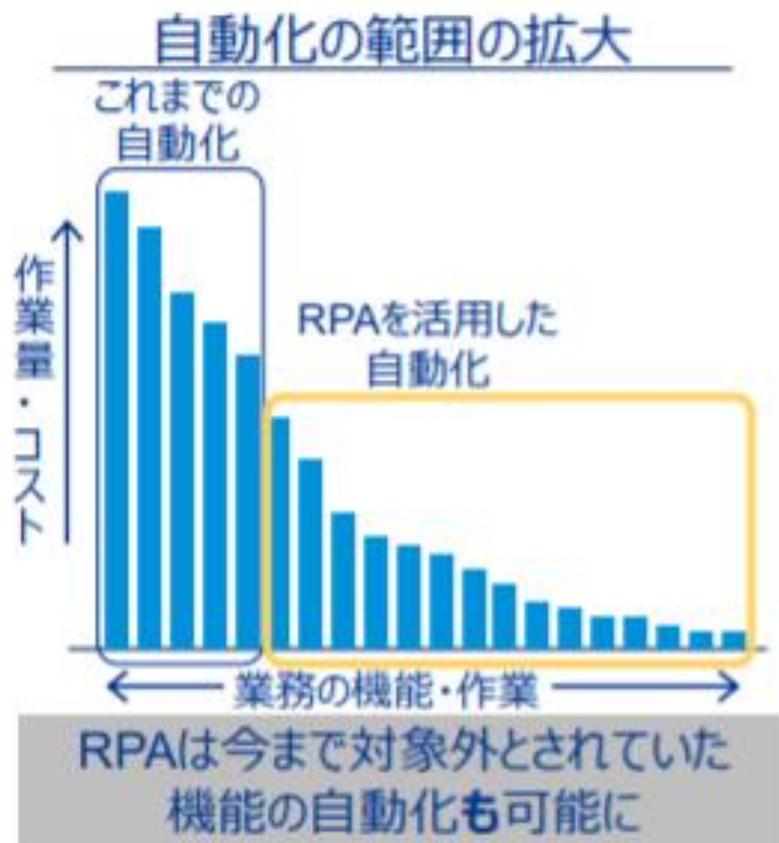
RPAで広がる自動処理の範囲①

RPAの活用により、これまで人間のみに対応可能と考えられていた作業を自動処理し、効率化できる範囲を飛躍的に拡大できる。



RPAで広がる自動処理の範囲②

RPAは今までの自動化の範囲をさらに拡大する。



RPAが利用可能なもの

ERP	基幹システム	クラウドDB	製造システム
分析ツール	Excel	インターネット	FAXデータ
在庫管理システム	メインフレーム	サーバー	伝票
マクロ	社内イントラ	営業支援システム	運用管理システム
クライアントサーバー	ネットワーク	紙の請求書	Access
顧客管理システム	メール送信	受注管理システム	メール読み込み

RPAは全ての情報を人間のように「操作」することができる

RPAで広がる自動処理の範囲③

RPAはシステムを人間と同じように「操作」できるため、通常必要となるプログラムの開発を必要とせず、人間の補完として既存業務を遂行することができる。

	人手（現状）	通常システム	RPA
準備	業務のトレーニング マニュアルに基づく説明	専用プログラムの開発	操作の記録
期間	短期間 ※個人スキルによる	期間が長い	短期間 1ロボット1週間から1ヵ月
コスト	トレーニングコスト 人件費	開発コスト高 専門の保守人員	低コスト
スキル	プログラミングスキルが 不要	プログラミングスキルが 必要 ITスタッフのみ対応可能	プログラミングスキルが 不要

RPAにより仕事が無くなるのか

過去の歴史から見れば、第一次産業が機械化などにより生産性が向上した結果、第一次産業の就労者は1/5以上減りました。代わりに第三次産業の割合が増え、今では100年前には存在すらしなかった職業が生まれています。

人は成長欲により**新たな付加価値を生み出す仕事を創造**し、事業活動をより良いものに変えていくでしょう。

昔



家事だけで
一日が終わる

今



共働きで
稼げるように

RPAデモ (Winactor)

シナリオ作成の流れ

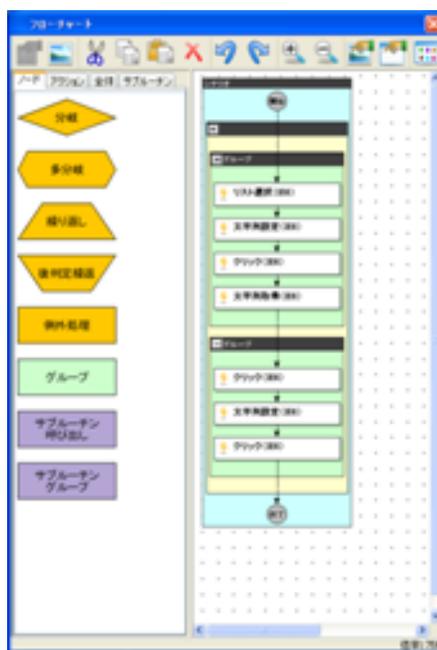
プログラミング等の特別な知識が無くても簡単にシナリオ作成ができます

① シナリオ自動記録



業務操作をWinActorが学習し、シナリオのひな型を作成

② シナリオ編集



GUI操作でシナリオの動作条件を編集

③ シナリオ実行



業務操作をWinActorが自動で正確に再現

シナリオ作成デモ

The screenshot displays the WinActor software interface for scenario creation. On the left, a 'フローチャート' (Flowchart) editor shows a simple scenario with '開始' (Start) and '終了' (End) nodes. The central workspace is a grid where the scenario is being built. On the right, a web browser window shows the '住所管理システム' (Address Management System) interface, which includes a search form with fields for '住所コード' (Address Code), '郵便番号' (Postal Code), '都道府県' (Prefecture), and '住所' (Address), along with search and update buttons.

WinActor Interface:

- 実行 (Execution): Play button, Stop button, Mode dropdown (全体), Counter (+0).
- 編集/記録 (Edit/Record): Record button, Stop button.
- 住所 記録対象アプリケーション選択 (Address Record Target Application Selection): Explorer.
- フローチャート (Flowchart): Search, Subroutine, Library tabs.
- ノード (Node): Search, Subroutine, Library tabs.
- ノードリスト (Node List):
 - ノード
 - フロー
 - グループ
 - 分岐
 - 多分岐
 - 繰り返す
 - 後判定繰返
 - 繰り返す終了
 - 次の条件判定
 - 例外処理
 - サブルーチン呼び出し
 - サブルーチングループ
 - サブルーチン終了
 - アクション
 - 画像マッチング
 - ウィンドウ状態待機
 - 指定時間待機
 - 文字列送信
 - コマンド実行
 - スクリプト実行
 - Excel操作
 - クリップボード
 - ユーザ
 - 待機ボックス
 - インプットボックス
 - 選択ボックス
 - 音
 - 変数
 - 変数値設定
 - 変数値コピー
 - 日時取得
 - ユーザ名取得
 - 四則演算
 - ガントアップ
 - 全角化/半角化

住所管理システム (Address Management System) Interface:

条件検索 (Condition Search)

条件名 (Condition Name)	検索条件(部分一致) (Search Condition (Partial Match))
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

検索 (Search)

検索結果: なし (Search Result: None)

住所コード (Address Code)	<input type="text"/>
郵便番号 (Postal Code)	<input type="text"/>
都道府県 (Prefecture)	<input type="text"/>
住所 (Address)	<input type="text"/>

変更 (Change) 更新 (Update) 中止 (Cancel)

NTT DATA
Global IT Innovator

路線の検索

駅名から路線検索し
定期代を申請一覧へ登録

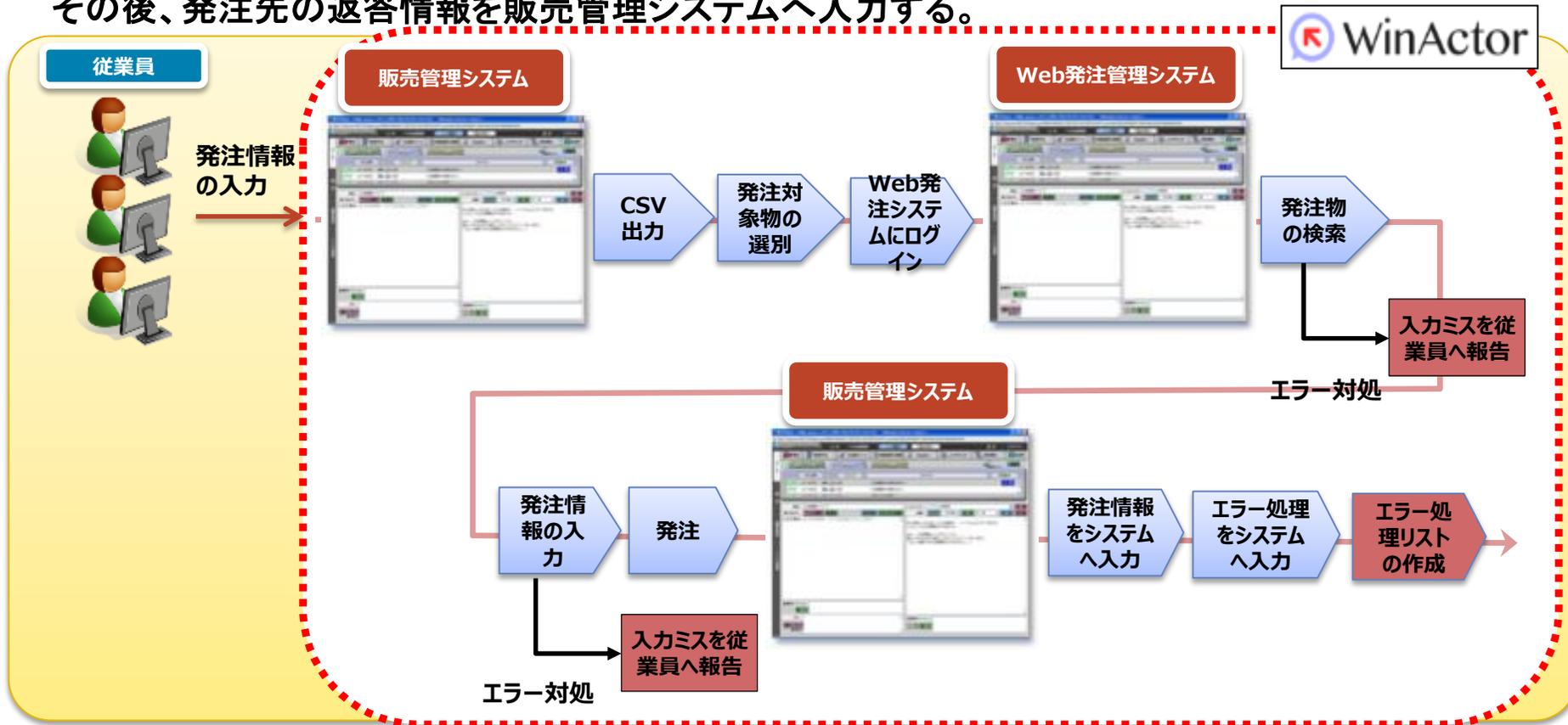
© 2017 NTT DATA Corporation

RPA活用事例

自動発注の仕組み【創ネット株式会社様】

【業務内容】

販売管理システムへ入力してある発注情報のうち発注対象となる情報を選別し読み取る。
 発注先の発注管理システムへ入力し、発注をかける。
 その後、発注先の返答情報を販売管理システムへ入力する。



人手で行う発注作業のかかる時間…約3分/件

月間発注件数…約1400件中、**1000件**を自動化済み

一日平均 **3時間30分** の業務時間の削減

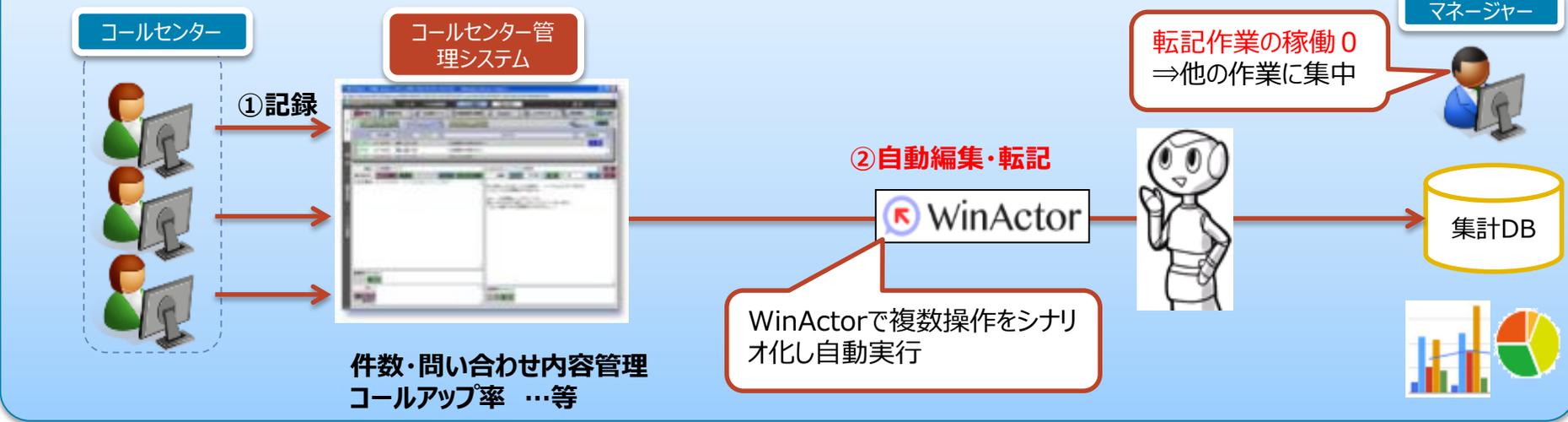
集計データの加工作業のロボット利用例

複数操作が必要となる煩雑な作業も、ロボットにより**作業稼働 0**に。

導入前

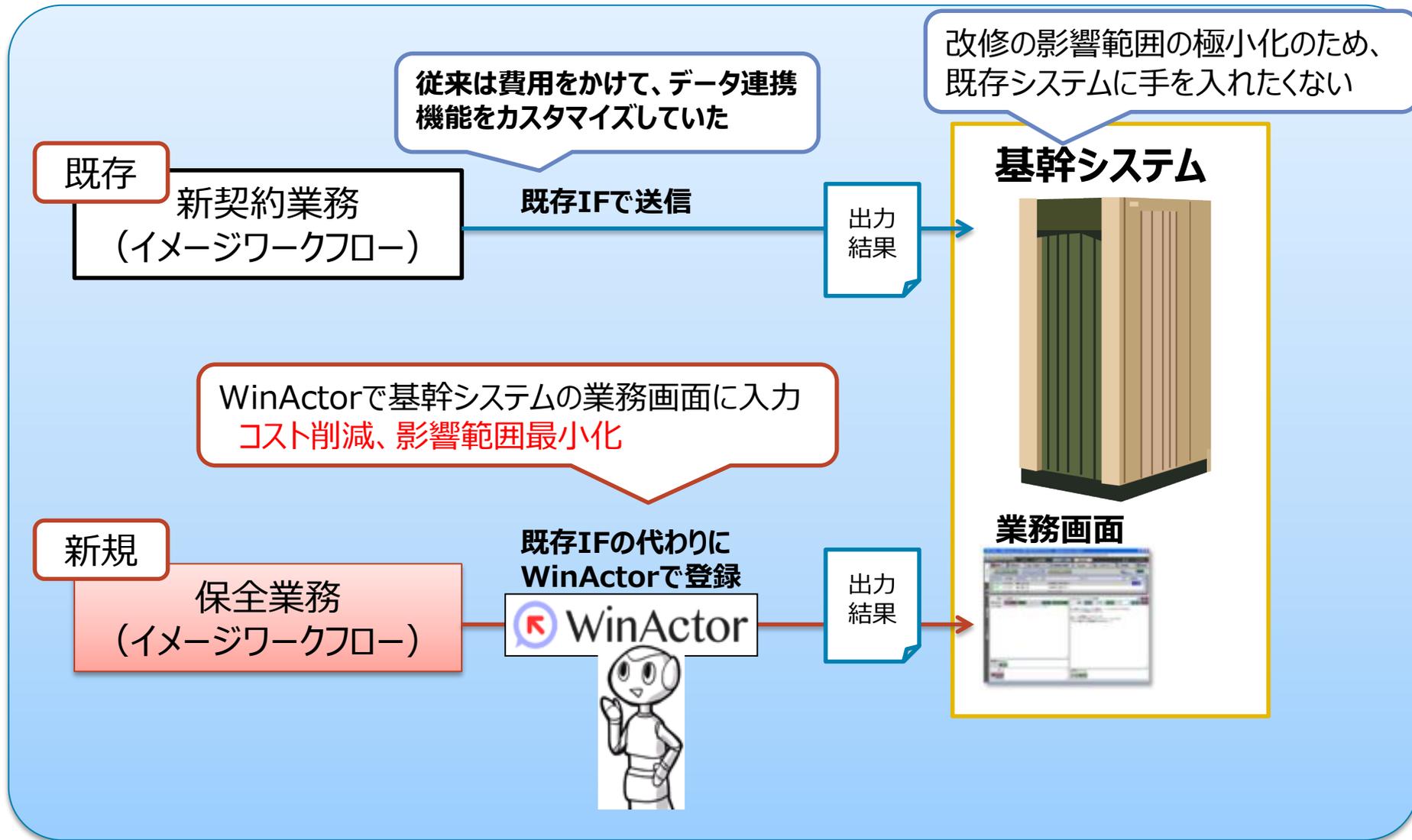


導入後



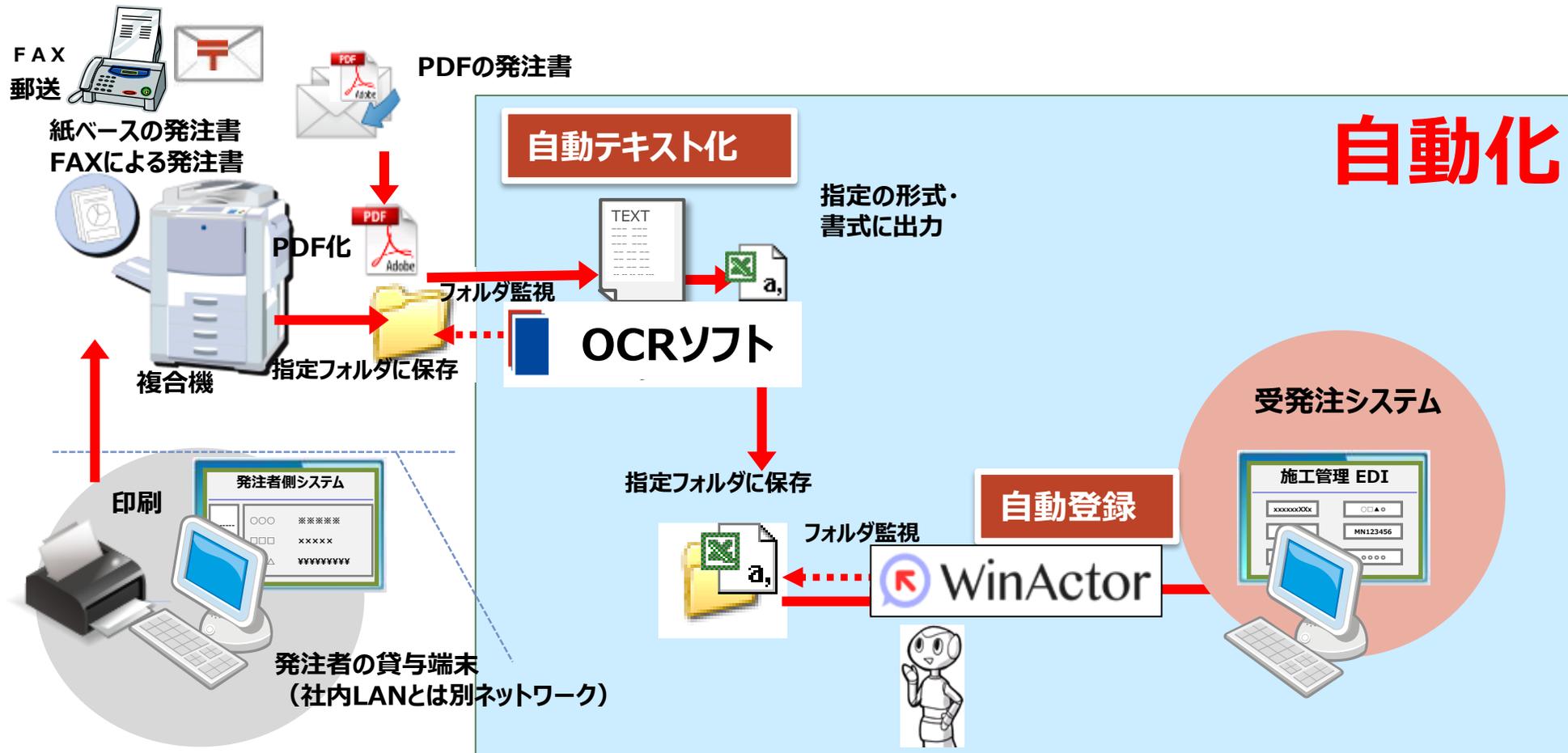
新規業務を追加した場合のシステム連携へのロボット利用例

基幹システムへのデータ連携の改修コスト・影響範囲を最小化



発注書のテキスト化とデータ登録のロボット利用例

文字認識ロボット「OCRソフト(別製品)」との組合せによりテキスト化からデータ投入まで一括でロボットが実行可能です。



WinActor導入事例（1 / 2）

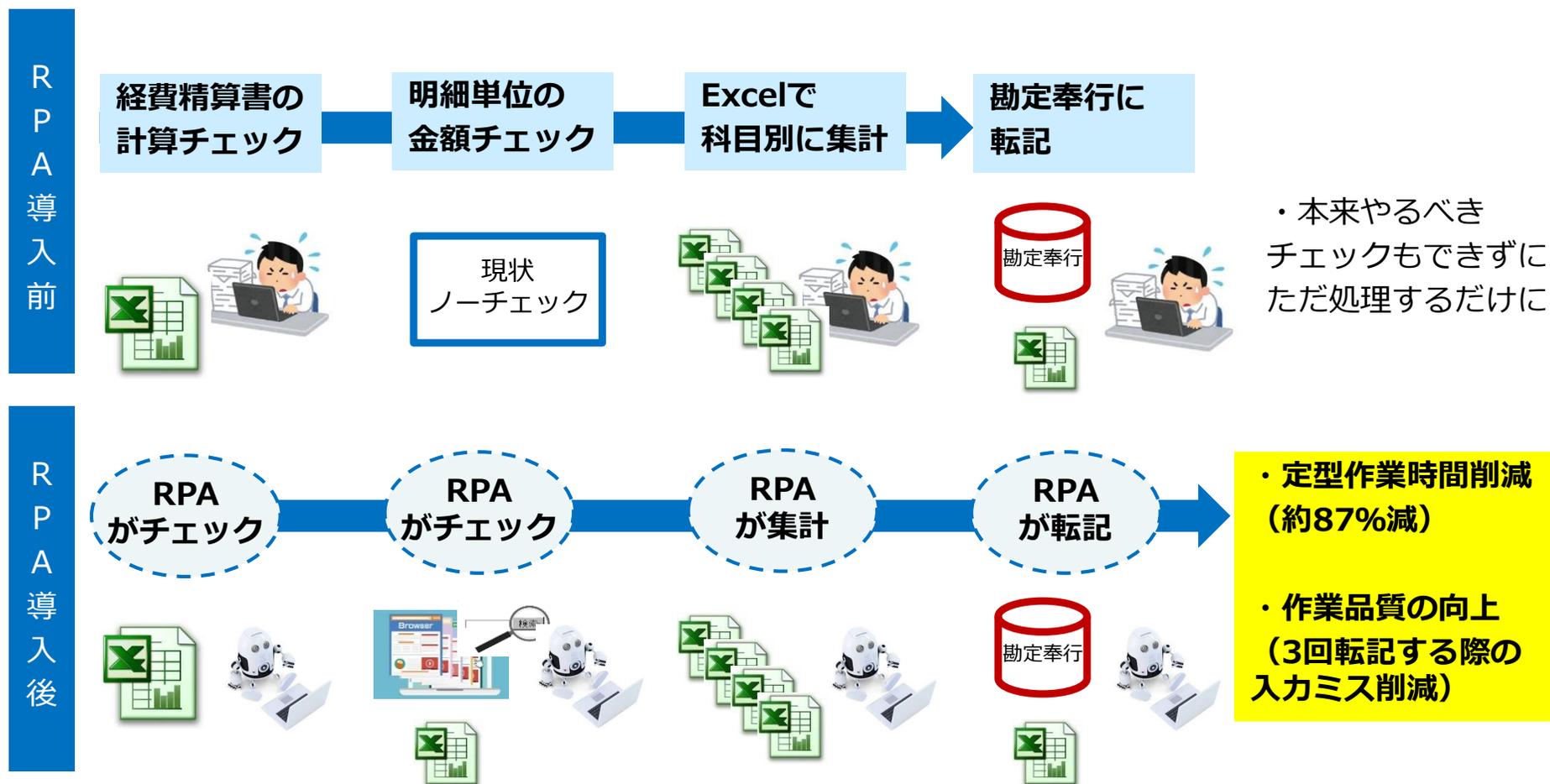
タスク種別	業界 導入部署	概要	INPUT	OUTPUT	効果
データ投入	IT 営業	受発注計画書データのシステム投入 受発注計画書（Excel）の内容を、複数の社内システム（電子決済システムと経理システム）に投入する必要があるが、WinActorを利用して両方に自動で入力	受発注計画書 （Excel）	①電子決済システム（画面） ②経理システム（画面）	データ入力の稼働を95%削減
データ投入	IT 情シス	メーリングリストへの登録申請を受けて、メーリングリスト作成を行う。	メーリングリスト登録 申請ファイル （Excel）	メーリングリスト作成画面 （WEB画面）	稼働削減 転記ミス0化
データ投入	小売 EC部門	商品伝票を読み込み、ECサイトやSNSサイトに商品情報を入力・アップロード	商品伝票 （Excel）	ECサイト、SNSサイト （画面）	数千件／月に及ぶ商品更新作業を完全自動化
データ投入	金融 法人営業	法人営業向け金利情報公開の自動化 ホスト運用部門より受領した最新の貸出・預金金利情報を加工し、店舗営業担当が参照するLotus Notesの掲示DBに貼り付ける。	法人向け商品の 最新金利 （Excel）	掲示用DB Lotus Notes（画面）	処理スピードが1時間から30分以内に。1名増員の予定が不要に。
データ移行	学校 学校事務	異なる学校向けグループウェア間でのデータ移行。データ読出し、データ変換、データ書き込み。	学校グループウェア （WEB画面）	学校グループウェア （WEB画面） 移行データ確認書 （Excel）	データ移行の低コスト化
データ移行	IT 情シス	旧業務システムから新業務システムへの更改に伴うデータ移行。	旧システム （CSV）	新システム （WEB画面）	データ移行の低コスト化
文書作成	金融 経営管理	売上管理データから週次報告書作成 売り上げ管理用の基幹システムに登録されているデータから、週1回 店舗ごとや部署ごとの週次報告書を自動で作成する。	売上データ （システム画面）	報告書 数値集計、グラフ作成、 定型文書 （Excel）	データを入力する社員の稼働を98%削減
文書作成	IT 経理	経営資源管理システム（ERPパッケージ）から、定期的に所定の経理レポート（Excel）を作成	経理関連データ （システム：ERPパッケージ画面）	経理レポート （Excel）	2人日／月の稼働削減

WinActor導入事例（2 / 2）

業界	導入部署	概要	INPUT	OUTPUT	効果
システム連携	金融 資産運用	サイトのファンドデータ取得と運用商品管理システムへの登録 外資系証券各社よりファンドの時価データを取得し、自社の運用商品管理システムへ登録。	ファンド運用担当のPC (画面)	運用商品管理 システム (画面)	外資系証券各社と データ連携のために 発生する数千万の コストが不要に。
システム連携	サービス コールセンタ	電話受付記録の取得とシステムへの取り込み フリーダイヤル/ナビダイヤルを利用したコールセンタで、コールセンタの対応品質 を把握するため、フリーダイヤル/ナビダイヤルのカスタムコントロール画面から電 話受付記録を取得して、DWH (データウェアハウス) に取り込み電話オペレー タの増員などの判断に使う。	フリーダイヤル番号表 WEB認証コード表	DWH 通話記録 (CSV) 受付記録 (TXT)	大量のコールセンタ 記録をDWHにデー タ移行する稼働を 削減
データ投入 文書作成	物流 契約担当	注文書のシステム投入と発注伝票作成 お客様から届く大量の注文書を受注管理システムに自動投入。さらに、システ ムから取り出したデータから不要な情報のマスク処理をして、発注伝票を自動で 実施する	注文書 (Excel)	注文書 (Excel)	データ入力と伝票 作成の稼働を75% 削減
システム連携 レポート	小売/EC 商品企画部門	各店舗からの商品要望書をシステムに登録、結果をレポート 各店舗から、随時特定フォルダに提出される商品要望書を、提出されたタイミン グで要望書管理システムに登録し登録結果をレポートする。	商品要望書 (Excel)	文書管理システム (Excel) エラー時メール通知 (メール)	要望書提出手段と 管理システムのシス テム化不要 文書登録稼働不 要
WEB検索 文書作成	マーケティング リサーチ部門	複数のオークションサイトに対してキーワード検索をして検索結果を保存する。	オークションサイト (WEB画面)	結果文書 (Excel)	専用要員1人が不 要
試験・計測 文書作成	通信 開発	アジャイル開発で、デグレードが発生しないことを繰り返し試験する。試験デー タを開発システムの画面に入力し、期待どおりの画面遷移をしたかを評価し、評 価結果を試験成績書に書き込む。	試験項目書 (Excel)	試験成績表 (Excel)	データ入力の稼働を 95%削減
試験・計測 データ保存	通信 開発	伝送測定器の測定結果を画面から読み取り、データ形式変換 (HTML→CSV)して測定結果を保存	測定器画面 (HTML) 測定器IPアドレス (Excel)	測定結果 (CSV)	1回の検証で50時 間の稼働削減

自社事例 : 経費精算業務

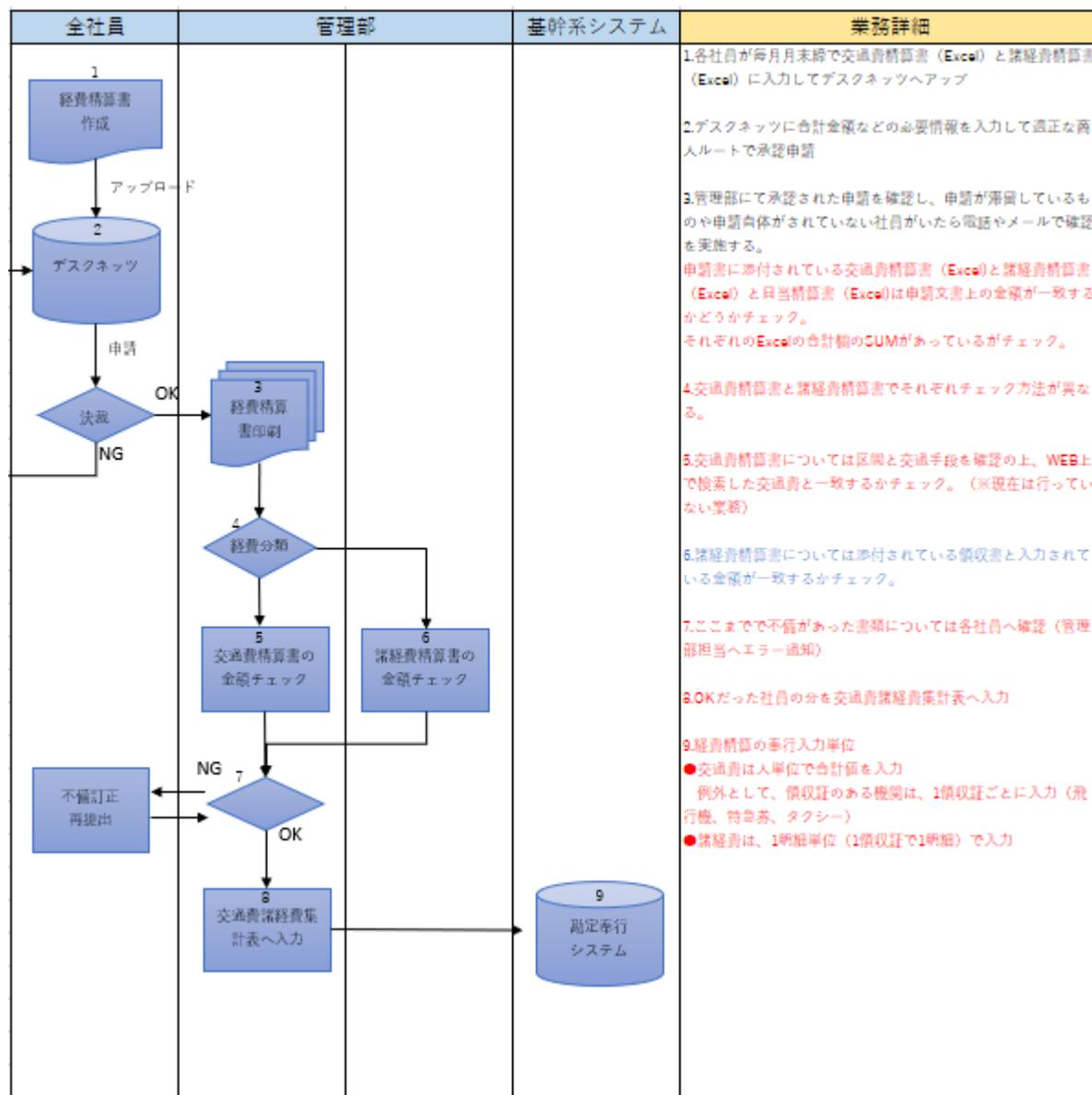
アイエンターでは社員の交通費及び諸経費の精算業務において**毎月40時間**かかっていた業務を**5時間 (87%削減)**で完了するようになった。



自社事例：経費精算業務の業務手順書

業務プロセスの整理について

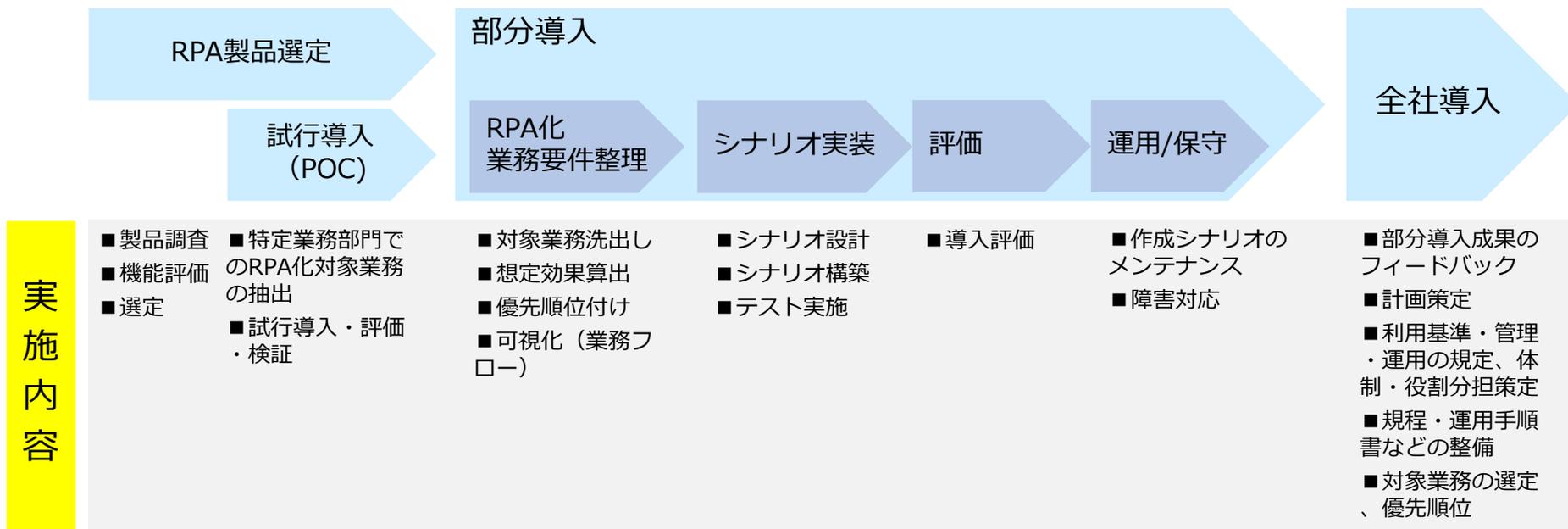
- ・「誰が/いつ（何をきっかけに）/何のツールで/何をするのか」について整理する
- ・属人的な判断を伴うポイント、条件が分岐するポイントをわかりやすく整理する
- ・実現可否が事前に判断つかないものは無理をしてRPAで行わずに、部分的に人手を介したプロセスにするのもアリ



RPA導入ステップとポイント

RPA導入ステップ：全体像

✓業務量が多く、簡単な業務を中心にRPA化
 ✓複雑な業務についても業務量が多ければRPAを行っていく
 ✓長い業務を一気通貫で自動化しようとせず、向いているところから適用する



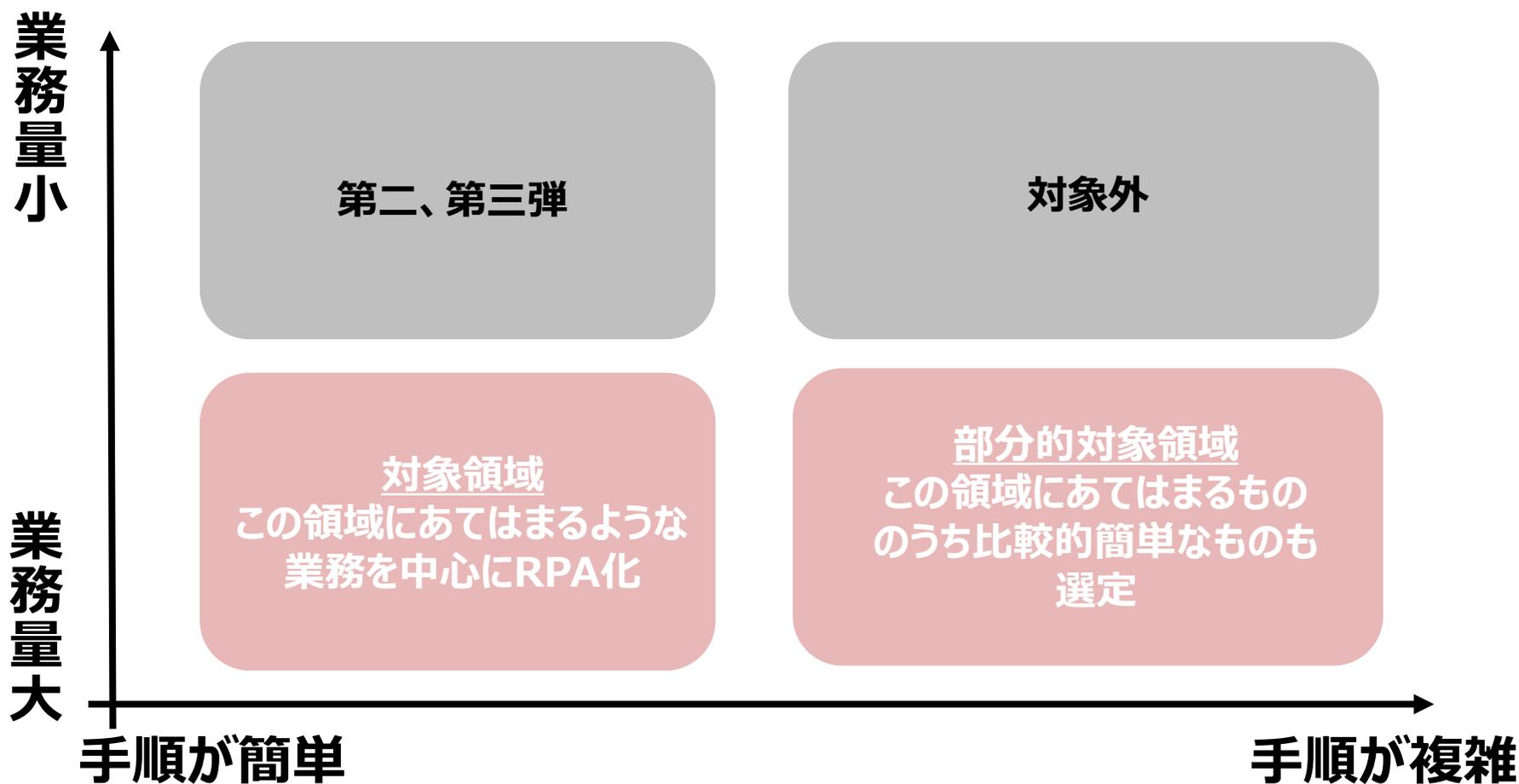
① 対象業務の選定基準、優先順位付けの考え方

② WinActor導入における推進体制・必要人材のイメージ

③ 課題の想定

対象業務の選定基準、優先順位付けの考え方（1 / 2）

- 業務量が多く、簡単な業務を中心にRPA化
- 複雑な業務についてもできればRPAを行っていく
- 長い業務を一気通貫で自動化しようとせず、向いているところから適用する



導入ステップ：対象業務の選定（2 / 2）

最初からすべての定型業務をRPAに移行するのは現実的ではありません。

「改善しやすさ」と「改善したときのインパクトが大きい」業務を洗い出し、まずは一つの業務をロボット化することで早く効果を体感することができ、その後の展開スピードも速くなります。

(業務洗い出しの例)

	業務A	業務B	業務C	業務D
業務目的	経費精算	売上集計	Web解析	ログ収集・解析
担当部署	経理部	営業部	マーケティング部	情報システム部
使用機器	PC3台	PC300台,iPad300台	2台	25台
使用者	3名	300名	3名	20名
使用日時・頻度	毎日	毎日	毎日	毎日
処理時間	平均2時間/日	延べ30分/日	延べ1時間/日	24時間/日
使用環境	Windows,Excel他	Win, iOS,Excel,Web	Win,Web	Win,Linux,サーバ
操作マニュアル・手順書	あり	あり	あり	あり（一部なし）
単純作業の割合	90%	60%	40%	60%
関連作業	仮払い、立替金管理	仕入れ管理	Webページ更新	アラートシステム
ケース分岐判断	あり	あり	なし	あり
影響度	2	4	1	4
コスト削減ニーズ	3	4	3	3
パフォーマンス改善ニーズ	4	3	2	4
プロセスボリューム	3	3	4	4
問題点	紙の領収書あり	セキュリティ	改善点の判断	複数アプリ
改定リスク	2	3	1	4
現状作業見積み人件費	20万円/月	100万円/月	30万円/月	150万円/月
変更後予定維持費用	5万円/月	30万円/月	20万円/月	40万円/月
改善しやすさ	3	2	4	4
総合判定	3	2	1	4

対象業務の選定基準、優先順位付けの考え方（2 / 2）

- 導入効果が高い業務特性は下記の通りで、特性によって係数を仮定する。
- 対象業務ごとに該当する係数を加算し優先順位をつける。導入が難しい業務はNGとし、対象から除外する。

	業務特性	係数	判定	対象業務																																																													
	導入により 高い効果が見込まれる 業務	①単純かつ日次・週次など高頻度で実施する業務	5		OK	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務名</th> <th colspan="10">RPA化優先順位判定</th> <th rowspan="2">合計 (優先度)</th> <th rowspan="2">判定</th> </tr> <tr> <th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th><th>⑤</th><th>⑥</th><th>⑦</th><th>⑧</th><th>⑨</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働状況 チェック業務</td> <td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>14</td><td>OK</td> </tr> <tr> <td>携帯電話料 金支払業務</td> <td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13</td><td>OK</td> </tr> <tr> <td>契約書内容 チェック業務</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>4</td><td>NG</td> </tr> </tbody> </table>	業務名	RPA化優先順位判定										合計 (優先度)	判定	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	稼働状況 チェック業務	○	○		○		○					14	OK	携帯電話料 金支払業務	○		○	○	○						13	OK	契約書内容 チェック業務					○	○	○			
業務名		RPA化優先順位判定										合計 (優先度)	判定																																																				
		①	②	③	④		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨																																																						
稼働状況 チェック業務		○	○		○			○					14	OK																																																			
携帯電話料 金支払業務		○		○	○		○						13	OK																																																			
契約書内容 チェック業務							○	○	○				4	NG																																																			
②大量件数の登録・参照を繰り返す業務	4	OK																																																															
③ピーク性のある業務	3	OK																																																															
④複数のアプリケーションを跨ぐ業務	2	OK																																																															
⑤ファイルの監視や存在確認が必要な業務	2	OK																																																															
⑥人手作業によるミスの発生可能性が高い業務	2	OK																																																															
導入が 難しい業務	⑦人間の目での判断が必要な業務	0	NG																																																														
	⑧顧客とのコミュニケーションが発生する業務	0	NG																																																														
	⑨インプットがデジタルな文字データでない業務	0	NG																																																														

WinActor導入における推進体制・必要人材のイメージ

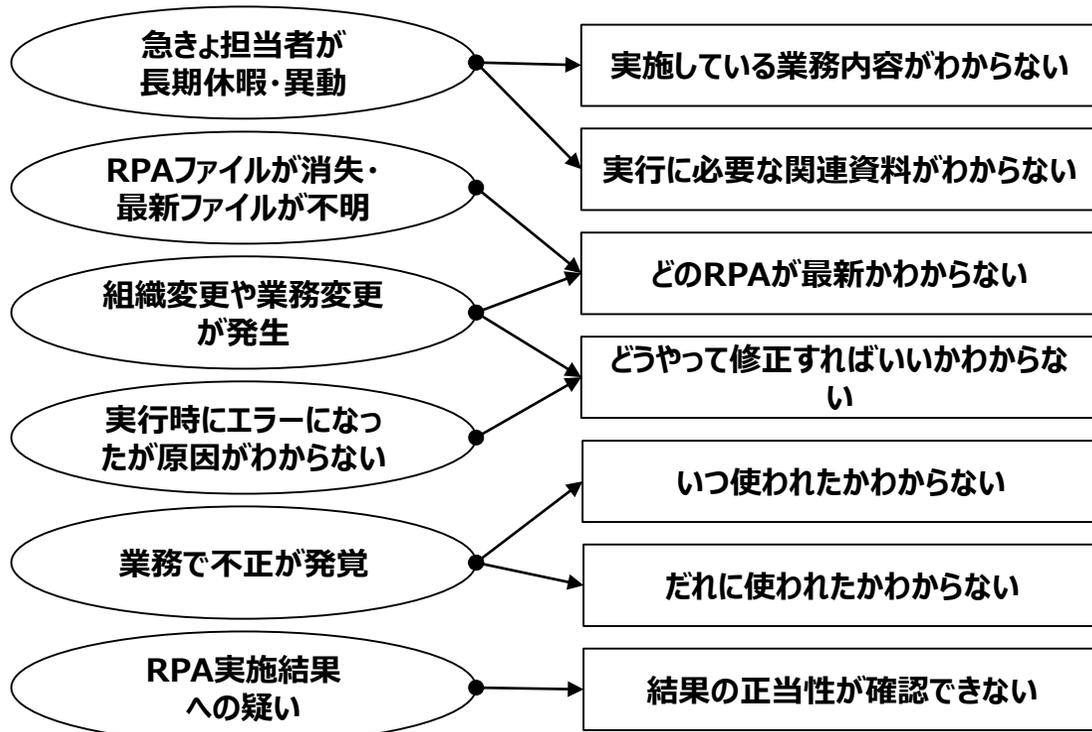
- 本格運用に際し、シナリオの品質管理やノウハウ展開、運用ルールの管理のために“RPA推進の中核人材”が必要と考えています。
- 中核人材の育成及びノウハウ集約を目的として、立ち上げ期はRPA推進チーム（集約組織）を組成し、安定化後にユーザー各部署へ配置することが望ましいと考えます。

役割	タスク	必要スキル	習得方法
RPA推進の中核人材 (エバンジェリスト)	<p>【立ち上げ期】</p> <ul style="list-style-type: none"> •管理ルールの策定 •適用業務の洗い出し～業務フロー作成 <p>【安定期】</p> <ul style="list-style-type: none"> •管理ルールの改訂やチェックを実施 •シナリオ管理責任者としてユーザー部門にて社員へワークフロー作成方法等のノウハウを伝授 	<ul style="list-style-type: none"> •マネジメント能力 •中程度のITリテラシー (アルゴリズム構築経験、プログラミング経験があるとよい) •RPAツールでのシナリオ構築経験 •業務知識 (業務の可視化またはマニュアル作成経験あり) 	<ul style="list-style-type: none"> •WinActorの研修受講 •実業務でのトライアル構築
シナリオ作成者	<ul style="list-style-type: none"> •業務要件をもとにRPAのシナリオの構築及び試験を実施 	<ul style="list-style-type: none"> •中程度のITリテラシー (アルゴリズム構築経験、マクロ・VB程度のプログラミング経験があるとよい) •業務可視化スキル 	<ul style="list-style-type: none"> •WinActorの研修受講 •実業務でのトライアル構築
運用管理者	<ul style="list-style-type: none"> •運用フェーズにおいてシナリオをメンテナンス (環境変更におけるシナリオ修正等) •エラー時のトラブルシューティング、影響確認。 •シナリオの実行管理 (実行確認、スケジュール管理) 	<ul style="list-style-type: none"> •中程度のITリテラシー (アルゴリズム構築経験、マクロ・VB程度のプログラミング経験があるとよい) •業務知識 •RPAツールでのシナリオ構築経験 	<ul style="list-style-type: none"> •業務経験 •WinActorの研修受講 •実業務でのトライアル構築
利用者	<ul style="list-style-type: none"> •シナリオを実行 ※クライアント型RPA ※シナリオの実行途中に利用者による判断、確認が介在する場合は、その操作を実行する 	<ul style="list-style-type: none"> •最低限のITリテラシー (Windows操作、MS Office操作) •業務知識 	<ul style="list-style-type: none"> •WinActorの研修受講

- トライアルを実施すると、実運用にあたってはハードルがあるような印象を持たれることが多い為、運用案を対策として提示すると今後の導入・展開を進めやすい。以降、実施企業の状況を確認し、それぞれの具体的なイメージを記載することが望ましい。

想定課題

(業務担当者に一任し、RPA導入を実施・推進した場合)



対策

① 推進体制の明確化

RPAの導入・推進は業務部門で
行わず、統括部門にて実施する。
ライセンス・端末についても各部署で占有する
メリットがでるまでは統括部門で管理する。

② 導入ルールの明確化

導入ルールを設け、それに則って進めること
で、後の導入をスムーズに行う。
※全社展開時

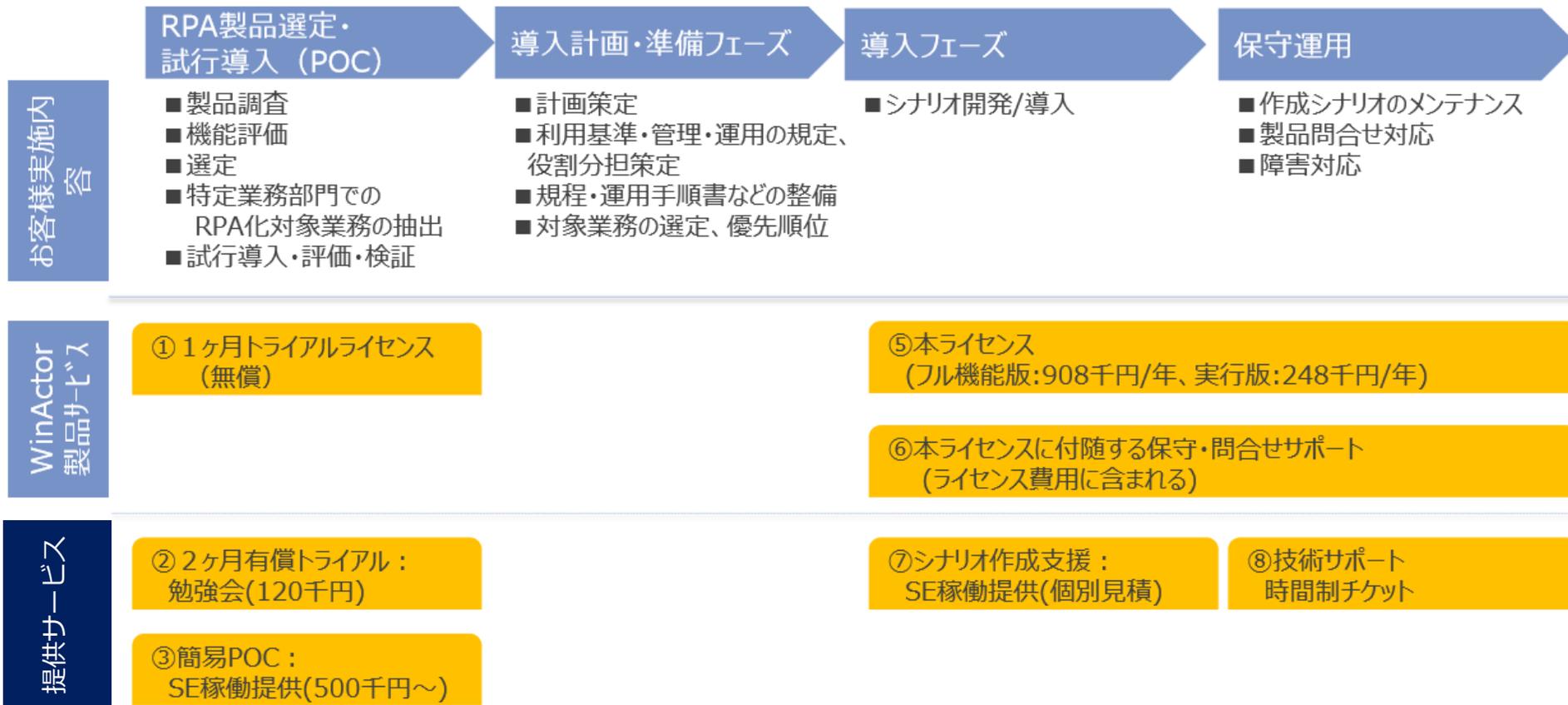
③ 運用ルールの明確化

管理ルールを設け、実行に
必要な仕組みの実装と、仕組みを使った管
理の実施を行う。
※全社展開時

ライセンスと各種サービスメニュー

全体のスケジュールと費用感について（Winactorの場合）

RPA検討～導入・保守までのステップ



ライセンス形態（クライアント型）

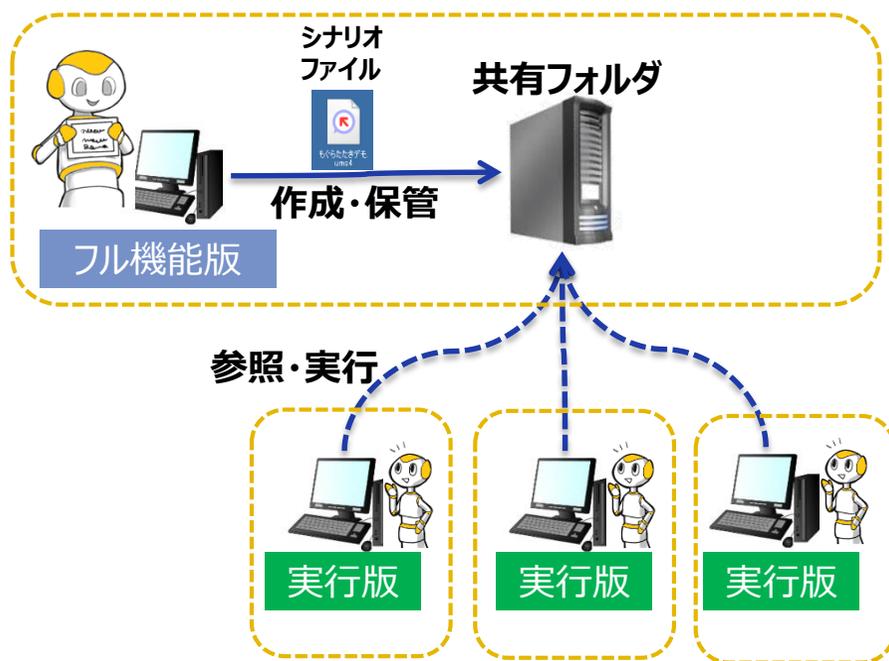
■ ライセンス形態

インストールする端末ごとに発生する利用型（**年額制**）のライセンスです。

- ①フル機能版：シナリオ作成とシナリオ実行の両機能を備える
- ②実行版：シナリオ実行機能のみの廉価版

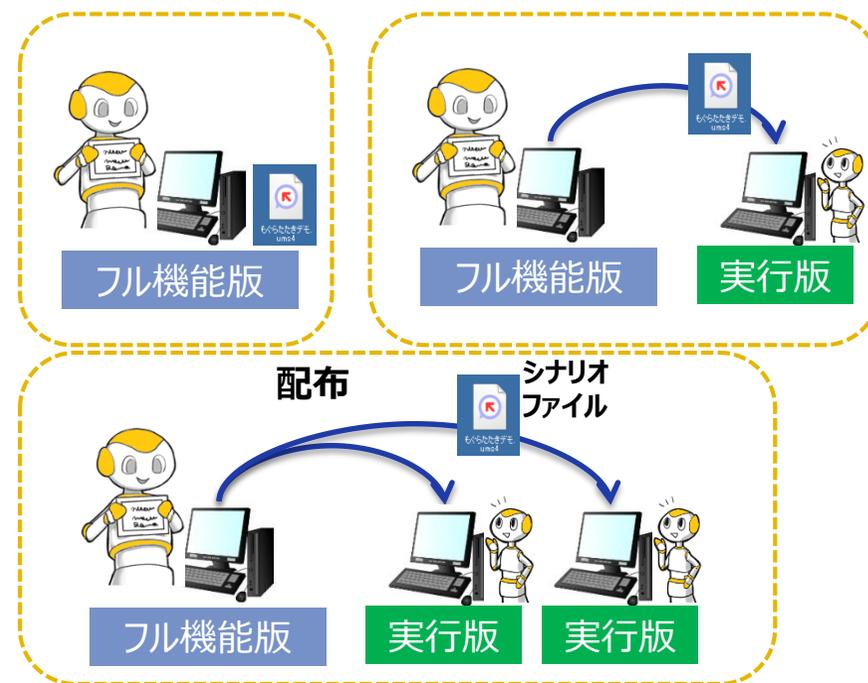
管理・統制を重視される場合

シナリオを1か所で集中作成・管理して統制



自由な活用を重視される場合

担当ごとにシナリオを作成

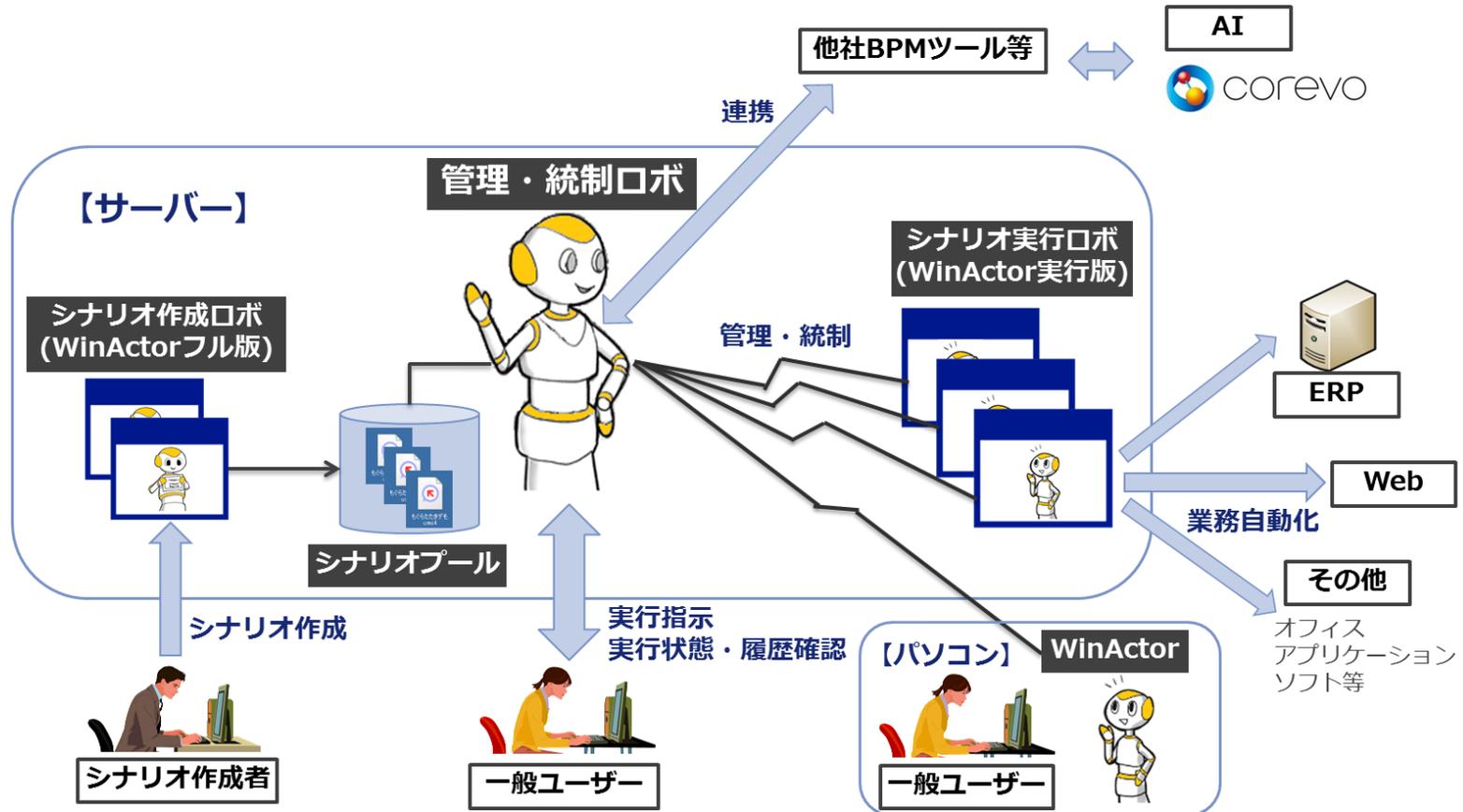


WinDirector (管理ロボ) のご提供開始 (サーバー型)

WinActorのサーバOS対応版をサーバOSにインストールし、実行サーバ側でWinActorをRDS接続で起動して利用します。

管理ロボがシナリオ実行指示をリクエストし、実行ロボ (WinActor) が実行します。

※管理ロボライセンスおよび実行ロボ (WinActor) の起動分のライセンスが必要となります。



ご提供価格 ～ライセンスについて～

■年間ライセンス費用（保守料込・税別）

項目	費用（年額）
WinActorフル機能版（シナリオ作成機能・実行機能）	908,000円/年
WinActor実行版（シナリオ実行機能のみ）	248,000円/年
WinActor画面OCRオプション	112,500円/年
WinDirector（管理ロボ）	2,280,000円/年

- ・インストールする端末ごとに発生する利用料型（年額制）のライセンスです。
- ・クライアントOS実行型に関して、ライセンスは端末に紐づきます。また、仮想端末も一つの端末として計上します。
- ・サーバーOS実行型に関して、ライセンスはユーザプロファイルに紐づきます。

■年間ライセンス費用に含まれる製品サポート保守

サポート内容	受付時間	その他条件
製品サポート窓口がメール（問合せ票）による以下対応を行います ①マニュアル内容の問合せ回答 ②製品仕様に関する問合せ回答 ③バグ修正版のご提供	平日 9:30-12:00及び 13:00-17:30 (土・日・祝日および 年末年始除く)	以下記載内容に準ずる。 ・WinActorサポートサービス規約 ・ソフトウェア使用許諾契約書

RPA導入～保守までの各種サービスメニュー

■PoC（試行導入）のサービスメニュー

※税別

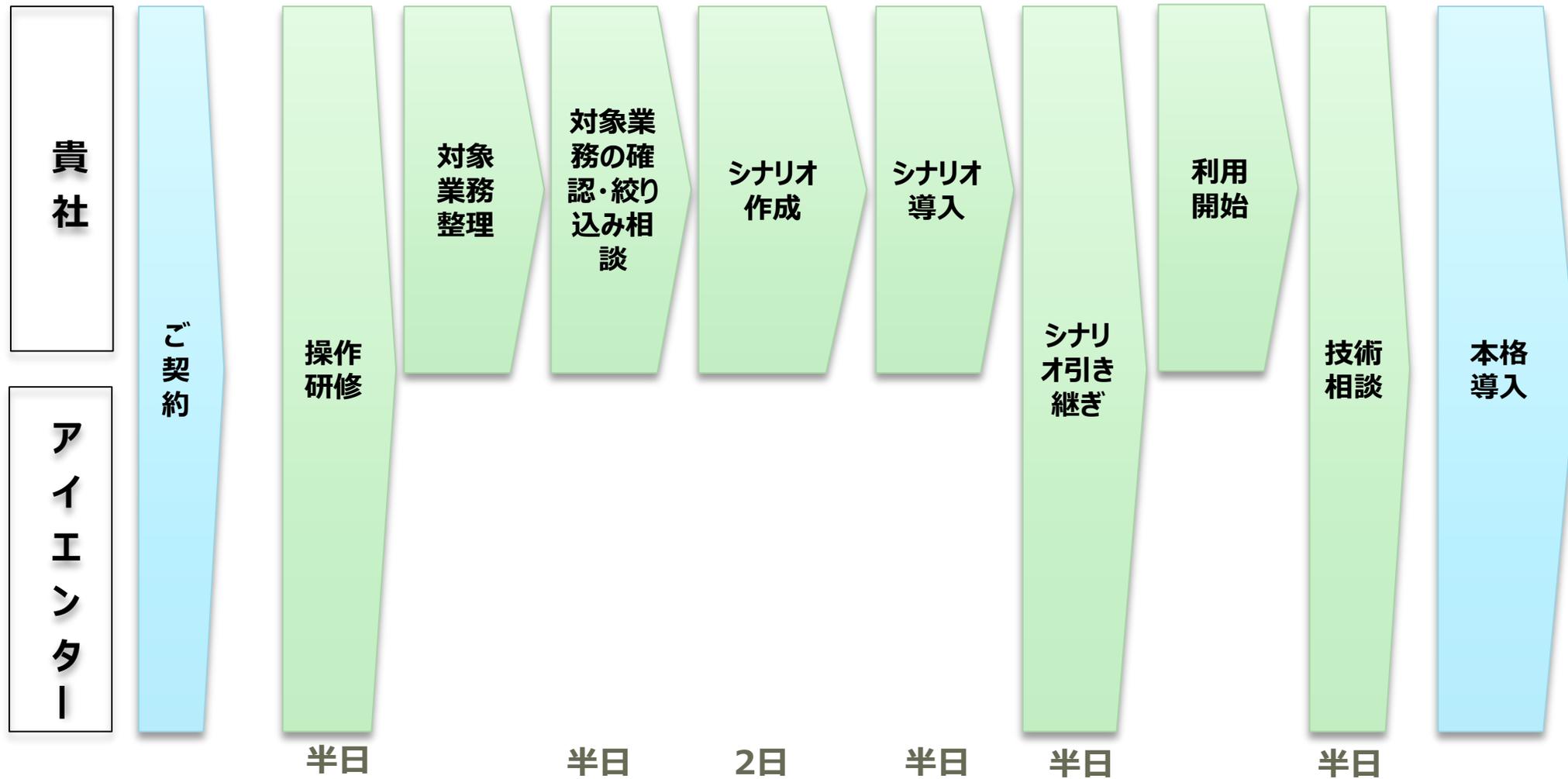
サービス名	費用
有償トライアル（2ヵ月お試しパック） ・半日の初心者向け操作研修（受講者2名、3名～別途費用） ・お悩み解消の個別技術ディスカッション2時間 ・2か月間のライセンス無制限利用権利	120,000円～ ※操作研修の受講人数により変動
試行導入支援（SE稼働提供） ・シナリオ作成支援 ・レクチャー ・非連続の5日分相当の作業提供（準委任）	500,000円

■本格導入のサービスメニュー

※税別

サービス名	費用
導入支援サービス（工数提供型：月間50時間） ・シナリオ設計、シナリオ作成、トレーニング ※現地常駐対応またはリモートアクセスによる作業となります	500,000円
運用保守サービス（SE稼働提供） ・技術サポート：60時間チケット/年 ・SEによる対面及び非対面での「技術相談」「軽微なシナリオ作成」 ※準委任契約、翌年度繰り越しなし	600,000円

● 簡易PoC（2ヶ月有償トライアル） 概要



2ヶ月間のライセンス試用利用付き

お問い合わせ



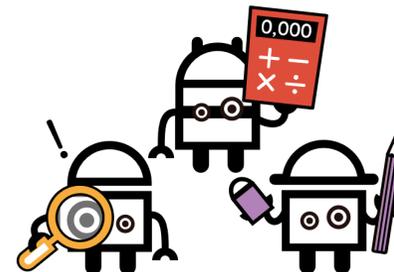
【販売特約店】 WinActor (<http://www.fcs-it.co.jp/>)

藤カマンダーソフト株式会社

E-mail : info@fcs-it.co.jp

TEL : 024-946-6693

担当 : 伊藤・二瓶



※WinActorは、株式会社NTTデータの登録商標です。